

砂防だより



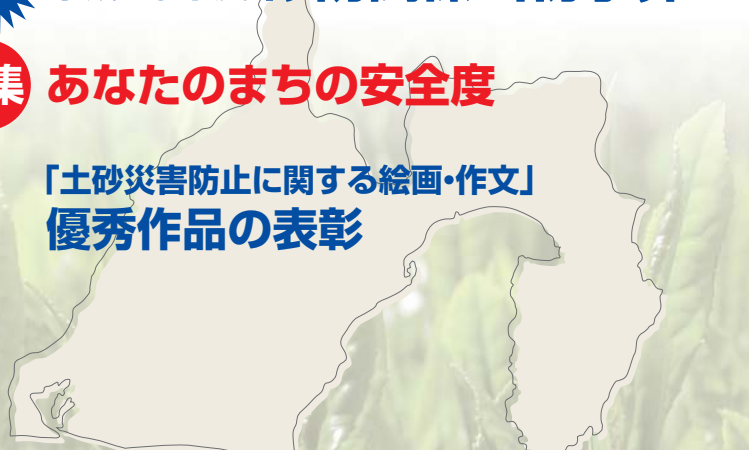
桃の節句(富士宮市郊外)

新年度のご挨拶	2
平成28年度の行事予定	3
土砂災害防止月間	
平成28年度砂防関係当初予算	4
あなたのまちの安全度	6
土砂災害に対する警戒避難体制整備促進の取り組み	8
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	10
わがまち(富士市・磐田市)	12
インフォメーション	13
募集・お知らせコーナー	16
土木事務所企画班砂防担当者の紹介	

速報 平成28年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰



新年度の御挨拶

新緑の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から砂防関係事業の推進に対しましては御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国で788件の土砂災害が発生しました。特に、9月の関東・東北豪雨では、栃木県日光市で土石流災害により2名の方が犠牲になるなどの甚大な被害が発生しております。本県においても、9月の台風18号などにより69件のがけ崩れが発生しましたが、このうち、13箇所で既設の擁壁などの防止施設により、崩壊土砂や倒木による人家への被害を未然に防ぐことができました。県ではこのように土砂災害から県民の生命と財産を守り安全で安心して暮らせる社会を実現するため、防止施設の整備などのハード対策を鋭意進めてまいります。

また、土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策も進めており、昨年度末で指定の対象となる18,581箇所の土砂災害危険箇所内の、13,078箇所の指定が完了しました。今後も、「土砂災害による死者数毎年0人」を目指し、土砂災害警戒区域等の指定を推進するとともに、住民の警戒避難行動が効果的に行えるよう、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などを支援する土砂災害警戒情報等の発表、基礎調査結果や危険箇所図等のインターネットによる公表、県民への防災知識の普及などソフト対策に取り組んでまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との連携、協働により初めて成果をなすものであります。今後ともより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成28年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

梨本 和則

静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-
FAX 054-221-3564

河川砂防局技監

梨本 和則

☎3040

砂防課長

北沢 隆夫

☎3382

課長代理

杉本 敏彦

☎3382

- 課長の代理
- 砂防協会、砂防ボランティア事務

砂防班

副班長 大野 正敏 ● 県単砂防事業 ● 災関緊急砂防事業 ● 砂防指定地の指定	マイクログ 342	班 長 西川 茂 ● 砂防班の総括 ● 直轄砂防事業の調整 ● 富士山等の火山噴火対策に関すること
主 査 相場 啓嗣 ● 補助砂防事業 ● 砂防技術基準	☎3041	主 査 小沼 佳記 ● 避難体制整備促進 ● 砂防関係指定地内行為許可の内 技術面の審査
主 任 杉山 隆太 ● 演習場周辺地区障害防止事業 ● 基礎調査 ● 警戒区域の指定	土砂災害 110番 ☎3044	技 師 井出 宗一郎 ● 基礎調査結果の公表 ● 情報基盤整備事業 ● 土砂災害防止の啓発

傾斜地保全班

班 長 杉山 一仁 ● 傾斜地保全班の総括 ● 直轄地すべり事業の調整	マイクログ 341	主 査 和田 直樹 ● 地すべり事業(林野) ● 災関地すべり事業(林野) ● 県単急傾斜事業 ● 地すべり区域の指定
主 任 鈴木 隆明 ● 補助急傾斜地事業 ● 災関緊急急傾斜地事業 ● 急傾斜地崩壊対策の技術基準 ● 県単急傾斜事業(調査費)	☎3043	主 査 佐藤 一樹 ● 地すべり事業(農地) ● 災関地すべり事業(農地) ● 地すべり区域の指定 ● 急傾斜地の指定
技 師 小田 匠 ● 地すべり事業(国交) ● 災関地すべり事業(国交) ● 土砂災害警戒情報	土砂災害 110番 ☎3042	砂防協会 望月 紀江 ● 砂防協会関係の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、

河川砂防管理課 ☎3028 (課長)柳本 仁

「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理班 ☎3034 (班長)北山真邦 (主査)田中宏和 (主事)山本貴之

※水防に関すること、交通基盤部内の防災対策の総合調整及び災害復旧事業の総括に関することについては、

土木防災課 ☎3033

同室内にある「土木防災課」で担当します。

【平成28年度の行事予定】

月 日	時刻	活 動	会場等
4月 27日(水)		全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
5月 24日(火)	11:00	(一社)全国治水砂防協会平成28年度(第80回)通常総会	砂防会館(東京都)
// 26日(木)		全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
// 26日(木)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成28年度(第71回)通常総会	静岡グランドホテル中島屋(静岡市)
6月 1日(水)~7日(火)		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1日(水)~30日(木)		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 5日(日)		土砂災害・全国防災訓練	静岡県内各地
// 18日(土)		みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催	青葉シンボルロード(静岡市)
8月25日(木)~27日(土)		市町長等砂防関係事業県外視察	長崎県
10月 下旬		東海地区治水砂防協会支部長・砂防課長合同会議	三重県
11月 上旬		市町等砂防担当職員研修	静岡県内
// 15日(火)	11:00	全国治水砂防促進大会	砂防会館(東京都)
2月 中旬		第57回砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間 がけ崩れ防災週間

6月1日(水)▶30日(木)

6月1日(水)▶7日(火)

土石流、地すべり、がけ崩れなどによる土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、県民に土砂災害防止について理解と関心を深めていただくため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会を実施しています。

行 事 予 定

6月1日~30日	急傾斜地パトロール(重点実施)
6月 5日	土砂災害・全国防災訓練
6月 18日	みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の開催(青葉シンボルロード)
6月1日~ 9月15日	「土砂災害防止に関する絵画・作文」の 作品募集



平成27年度 みんなで防ごう土砂災害(砂防フェスティバル)の様子

速報

平成28年度

当初予算

砂防関係
予算

95億4,963万円余

平成28年度当初予算が平成28年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆2,409億円で、前年度に比べ12億円の増、対前年度比100.1%でした。

砂防関係事業の予算総額は95億4,963万円で、前年度より約30,601万円の減、対前年度比96.9%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業 64億100万円(前年度当初比95.4%)

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業 20億3,500万円(前年度当初比100.0%)

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、豪雨対策、緊急輸送路関連土砂災害対策等を実施します。

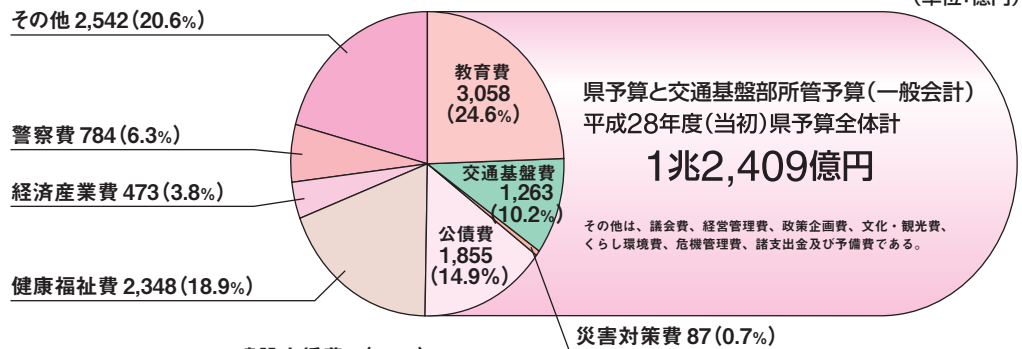
3 国直轄事業費負担金 11億1,100万円(前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

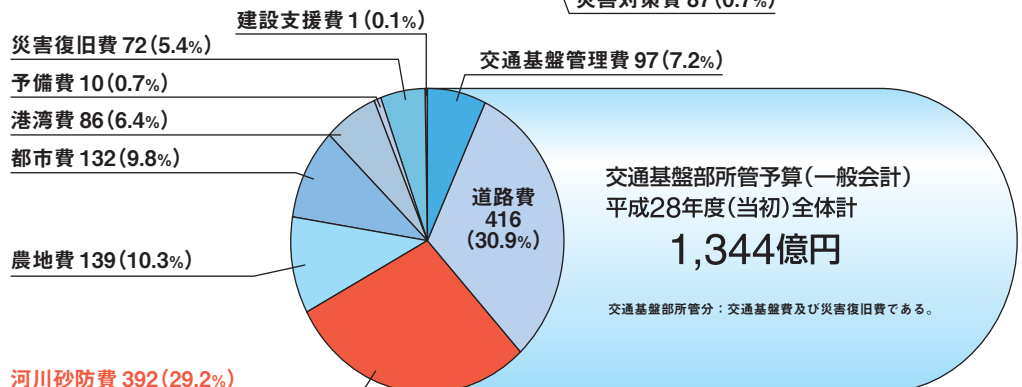
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と交通基盤部予算 (平成28年度当初)



● 交通基盤部所管予算 (平成28年度当初)

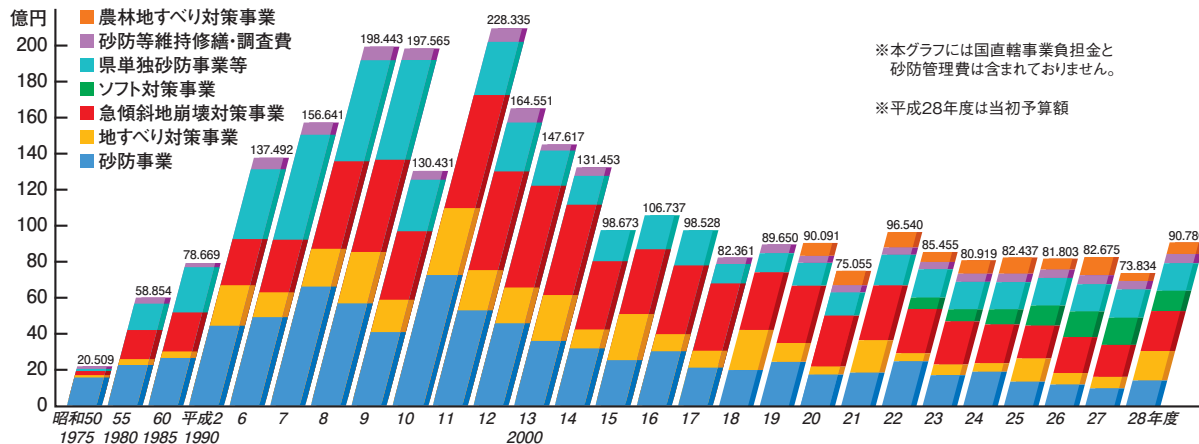


(単位:千円、%)

●平成28年度 砂防関係事業等予算額調書

事業名	平成28年度			平成27年度			
	当初 A	当初 B	最終 C	A/B	A/C		
★ 砂防管理費(第1目) 計	2,635	2,635	2,586	100.0	101.9		
砂防事業	75,000	75,000	75,000	100.0	100.0		
急傾斜地崩壊対策事業	375,000	375,000	375,000	100.0	100.0		
豪雨対策緊急事業	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0		
河川改良費(第2目) 計	450,000	450,000	450,000	100.0	100.0		
一般公共事業	防災安全交付金	砂 通常砂防事業	548,100	577,500	496,650	94.9	110.4
		砂 火山砂防事業	399,000	415,000	325,710	96.1	122.5
		砂防事業 計	947,100	992,500	822,360	95.4	115.2
		地すべり対策	342,000	378,000	373,370	90.5	91.6
		急傾斜地崩壊対策	2,038,000	2,209,200	1,768,079	92.3	115.3
		緊急改築(砂防)	52,500	94,500	56,700	55.6	92.6
		緊急改築(地すべり)	10,500	10,500	10,500	100.0	100.0
		情報基盤緊急整備	21,000	29,400	30,545	71.4	68.8
		基礎調査	1,102,500	1,102,500	1,472,115	100.0	74.9
		総合流域防災事業 計	1,186,500	1,236,900	1,569,860	95.9	75.6
		効果促進事業(ソフト)	400	400	420	100.0	95.2
		防災安全交付金 計	4,514,000	4,817,000	4,534,089	93.7	99.6
		東富士演習場周辺地区障害防止対策事業	72,000	75,000	36,486	96.0	197.3
		特定緊急砂防	105,000	84,000	82,950	125.0	126.6
		特定緊急地すべり対策	321,000	342,000	254,800	93.9	126.0
通常国庫補助事業 計	426,000	426,000	337,750	100.0	126.1		
災害関連緊急砂防	257,000	257,000		100.0	皆増		
災害関連緊急地すべり対策	959,000	959,000		100.0	皆増		
災害関連緊急急傾斜地崩壊対策	173,000	173,000		100.0	皆増		
災害関連緊急事業 計	1,389,000	1,389,000		100.0	皆増		
一般公共事業 計	6,401,000	6,707,000	4,908,325	95.4	130.4		
県単独事業	生活環境整備	通常砂防	408,000	407,000	442,000	100.2	92.3
		地すべり対策	64,900	64,400	64,400	100.8	100.8
		急傾斜地崩壊対策	509,000	501,600	516,400	101.5	98.6
		砂防	20,000	20,000	20,000	100.0	100.0
		地すべり対策	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0
		急傾斜地崩壊対策				皆減	皆減
		災害緊急整備	30,000	30,000	30,000	100.0	100.0
		砂防				皆減	皆減
		地すべり対策	10,000	10,000	10,000	100.0	100.0
		急傾斜地崩壊対策	50,000	50,000	49,200	100.0	101.6
		緊急輸送路関連土砂災害対策	60,000	60,000	59,200	100.0	101.4
		砂防等維持修繕	252,500	255,000	239,400	99.0	105.5
		砂防等調査	167,600	174,000	140,000	96.3	119.7
		砂防等台帳整備	11,000	11,000	11,600	100.0	94.8
		生活環境整備事業 計	1,503,000	1,503,000	1,503,000	100.0	100.0
施設整備	64,000	64,000	64,000	100.0	100.0		
指定促進対策	18,000	18,000	18,000	100.0	100.0		
急傾斜地崩壊対策事業費補助	82,000	82,000	82,000	100.0	100.0		
砂防県単事業 計	1,585,000	1,585,000	1,585,000	100.0	100.0		
砂防	428,000	427,000	462,000	100.2	92.6		
地すべり対策	84,900	84,400	84,400	100.6	100.6		
急傾斜地崩壊対策	641,000	633,600	647,600	101.2	99.0		
その他(維持修繕・調査)	431,100	440,000	391,000	98.0	110.3		
県単独事業 計	1,585,000	1,585,000	1,585,000	100.0	100.0		
砂防費(第4目) 計	7,986,000	8,292,000	6,493,325	96.3	123.0		
一般公共	農地地すべり	217,000	216,000	129,000	100.5	168.2	
	農地地すべり(災害関連分)	23,000	23,000		100.0	皆増	
	治山地すべり	200,000	220,000	174,127	90.9	114.9	
	治山地すべり(災害関連分)	65,000	65,000		100.0	皆増	
	農林地すべり一般公共事業 計	505,000	524,000	303,127	96.4	166.6	
県単独	県単農地地すべり	63,000	63,000	63,000	100.0	100.0	
	県単治山地すべり	74,000	74,000	74,000	100.0	100.0	
	生活環境整備事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0	
農林地すべり県単事業 計	137,000	137,000	137,000	100.0	100.0		
農地地すべり	280,000	279,000	192,000	100.4	145.8		
治山地すべり	274,000	294,000	248,127	93.2	110.4		
災害関連分	88,000	88,000		100.0	皆増		
○ 農林地すべり対策費(第5目) 計	642,000	661,000	440,127	97.1	145.9		
★ 国直轄事業費負担金(第6目) 計	1,111,000	1,111,000	1,757,311	100.0	63.2		
合計	10,191,635	10,516,635	9,143,349	96.9	111.5		
合計から○を除く	9,549,635	9,855,635	8,703,222	96.9	109.7		
合計から★を除く	9,078,000	9,405,635	7,383,452	96.5	122.9		

●砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、18,581箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、定や、住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布等)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト対策を合わせた、

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成28年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計	
下田	下田市	261		348	609	236		315	551	550
	東伊豆町	32	8	65	105	22		55	77	77
	河津町	110	5	131	246	74		83	157	25
	南伊豆町	298	1	277	576	209		189	398	238
	松崎町	107	1	144	252	94		127	221	221
	西伊豆町	93	1	137	231	87		124	211	211
	小計	901	16	1,102	2,019	722		893	1,615	1,322
熱海	熱海市	105	1	189	295	96		137	233	232
	伊東市	105	2	248	355	105		198	303	252
	小計	210	3	437	650	201		335	536	484
沼津	沼津市	129		253	382	104		139	243	245
	三島市	21		102	123			29	29	29
	御殿場市	30		21	51	30		7	37	37
	裾野市	53		61	114	43		34	77	77
	伊豆市	586	12	590	1,188	487		383	870	
	伊豆の国市	143	2	314	459	100		186	286	286
	函南町	37	1	105	143	2		9	11	11
	清水町	2		16	18	2		5	7	7
	長泉町	2		32	34	1		32	33	3
	小山町	47		82	129	47		57	104	104
	小計	1,050	15	1,576	2,641	816		881	1,697	799
富士	富士宮市	109	2	293	404	83		240	323	323
	富士市	54	2	175	231	33		154	187	184
	小計	163	4	468	635	116		394	510	507
静岡	静岡市	1,021	32	2,039	3,092	741		1,369	2,110	1,103
	小計	1,021	32	2,039	3,092	741		1,369	2,110	1,103
島田	島田市	240	46	545	831	156		429	585	585
	焼津市	33	1	61	95	25		48	73	73
	藤枝市	236	38	511	785	199		421	620	549
	牧之原市	41	5	421	467	39		303	342	342
	川根本町	59	10	198	267	42		131	173	173
	吉田町			13	13			6	6	6
	小計	609	100	1,749	2,458	461		1,338	1,799	1,728
袋井	磐田市	97		254	351	65		197	262	259
	掛川市	282	25	1,119	1,426	135		820	955	861
	袋井市	50		292	342	29		173	202	202
	菊川市	92	4	625	721	43		381	424	424
	御前崎市	16	1	353	370	10		274	284	284
	森町	93	17	463	573	40		232	272	3
	小計	630	47	3,106	3,783	322		2,077	2,399	2,033
浜松	天竜区	353	117	1,016	1,486	282		871	1,153	
	天竜区以外	221	20	1,339	1,580	158		938	1,096	
	浜松市計	574	137	2,355	3,066	440		1,809	2,249	1,192
	湖西市	5		232	237	2		161	163	163
	小計	579	137	2,587	3,303	442		1,970	2,412	1,355
合計	5,163	354	13,064	18,581	3,821		9,257	13,078	9,331	

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法8条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ



静岡県の土砂災害情報は、
<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/sabouka/dosyasaigaijouhoumap.html>
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指
 総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(平成28年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		採択可能 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	採択可能 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	29	17.7	258	45	17.4
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	8	21.1	60	17	28.3
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	11	9.2	1	1	100.0	131	40	30.5	251	52	20.7
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	22	28.6	149	30	20.1
	西伊豆町	64	17	26.6	1			67	19	28.4	132	36	27.3
	小 計	417	73	17.5	14	5	35.7	521	131	25.1	952	209	22.0
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	14	14.7	187	31	16.6
	伊東市	82	23	28.0	2	1	50.0	110	26	23.6	194	50	25.8
	小 計	173	40	23.1	3	1	33.3	205	40	19.5	381	81	21.3
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	71	55.5	224	91	40.6
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	10	43.5				24	6	25.0	47	16	34.0
	伊豆市	328	58	17.7	8	1	12.5	148	42	28.4	484	101	20.9
	伊豆の国市	74	4	5.4	1			82	31	37.8	157	35	22.3
	函南町	14	4	28.6	1			32	7	21.9	47	11	23.4
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	21	56.8	72	31	43.1
小 計	596	115	19.3	10	1	10.0	522	198	37.9	1,128	314	27.8	
富士	富士宮市	66	18	27.3	1			81	23	28.4	148	41	27.7
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	31	56.4	104	48	46.2
	小 計	114	34	29.8	2	1	50.0	136	54	39.7	252	89	35.3
静岡	静岡市	540	129	23.9	11	4	36.4	654	296	45.3	1,205	429	35.6
	小 計	540	129	23.9	11	4	36.4	654	296	45.3	1,205	429	35.6
島田	島田市	83	17	20.5	26	7	26.9	132	69	52.3	241	93	38.6
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	27	39.1	27	8	29.6	117	61	52.1	213	96	45.1
	川根本町	23	4	17.4				33	13	39.4	56	17	30.4
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	24	42.1	72	38	52.8
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小 計	201	66	32.8	56	19	33.9	367	189	51.5	624	274	43.9
袋井	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	磐田市	20	1	5.0				33	4	12.1	53	5	9.4
	掛川市	39	1	2.6	11	7	63.6	102	24	23.5	152	32	21.1
	袋井市	7						30	10	33.3	37	10	27.0
	菊川市	9	2	22.2		1		84	34	40.5	93	37	39.8
	森町	23	6	26.1	5	2	40.0	26	4	15.4	54	12	22.2
	小 計	99	10	10.1	16	10	62.5	308	94	30.5	423	114	27.0
浜松	天竜区	128	49	38.3	66	24	36.4	306	78	25.5	500	151	30.2
	天竜区以外	43	9	20.9	5	4	80.0	281	64	22.8	329	77	23.4
	浜松市計	171	58	33.9	71	28	39.4	587	142	24.2	829	228	27.5
	湖西市							54	9	16.7	54	9	16.7
	小 計	171	58	33.9	71	28	39.4	641	151	23.6	883	237	26.8
合 計	2,311	525	22.7	183	69	37.7	3,354	1,153	34.4	5,848	1,747	29.9	

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流 I ■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所 I

土砂災害に対する

警戒避難体制整備促進の取り組み

1 土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害防止法に基づき、県では土砂災害警戒区域の指定を行っています。平成27年度は1,453区域を指定し、累計で13,078区域となっています（P6「あなたのまちの安全度」参照）。

指定箇所について、市町は、警戒区域ごとの警戒避難体制に関する事項、要配慮者利用施設への情報伝達方法などを地域防災計画に定め、ハザードマップ等の印刷物を作成・配布することになっており、平成27年度末までに9,331箇所71.3%が完了しています。

県は、ハザードマップの作成事例や「土砂災害警戒区域における警戒避難体制整備ガイドライン」を配布するなど、市町を支援しています。

指定区域は、砂防課・関係土木事務所・関係市町で縦覧するほか、砂防課ウェブサイトで公開しています。

警戒区域の指定と対応状況

(平成28年3月31日現在)

市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布	市町名	土砂災害警戒区域	ハザードマップ配布
下田市	551	550	富士宮市	323	323
東伊豆町	77	77	富士市	187	184
河津町	157	25	静岡市	2,110	1,103
南伊豆町	398	238	島田市	585	585
松崎町	221	221	焼津市	73	73
西伊豆町	211	211	藤枝市	620	549
熱海市	233	232	牧之原市	342	342
伊東市	303	252	川根本町	173	173
沼津市	243	245	吉田町	6	6
三島市	29	29	磐田市	262	259
御殿場市	37	37	掛川市	955	861
裾野市	77	77	袋井市	202	202
伊豆市	870		菊川市	424	424
伊豆の国市	286	286	御前崎市	284	284
函南町	11	11	森町	272	3
清水町	7	7	浜松市	2,249	1,192
長泉町	33	3	湖西市	163	163
小山町	104	104	35市町	13,078	9,331

2 「土砂災害・全国防災訓練」の実施：平成28年6月5日(日)

訓練は、集中豪雨による土砂災害が発生した場合に備え、警戒避難体制の確認と防災意識の高揚を目的に、県内35市町において実施します（平成27年度は住民や行政関係者など約3千人が実動訓練に参加）。土砂災害警戒情報の発表後に住民が避難所まで避難するなど、実践的な訓練を主体に構成され、ハザードマップを活用した「避難場所」・「避難経路」の現地確認、避難行動要支援者に対する支援、土砂災害防止講習会なども実施します。

3 土砂災害防止講習会等の実施

被災を免れるには、行政からの防災情報に現地の実況を加え、住民の「適切な判断と行動」が必要です。このため、土砂災害についての知識をいざという時に活用していただくよう、県では土砂災害防止講習会や小中学校への出前講座などを行っています。また、土砂災害防止講習会の受講者の中から土砂災害危険箇所のある地区の受講者を「防災連絡員」として登録し、平常時の監視体制の強化や警戒避難体制の支援を図っています。

県職員が説明に伺いますので、市町で実施している防災講座等に積極的に御活用ください。

平成27年度 土砂災害防止講習会

開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数	開催日	主体	人数
5月23日	松崎町	25人	6月7日	沼津市	55人	6月27日	裾野市	212人	12月6日	函南町	103人
5月24日	清水町	56人		函南町	45人	7月8日	静岡市	12人		川根本町	150人
5月26日	南伊豆町	33人		島田市	78人	7月19日	静岡市	133人	御前崎市	64人	
5月31日	松崎町	50人		藤枝市	66人	7月23日	清水町	65人	富士市	8人	
	袋井市	70人		焼津市	102人	8月7日	牧之原市	90人	12月10日	島田市	34人
6月6日	掛川市	135人	磐田市	84人	8月18日	沼津市	33人	12月15日	富士宮市	5人	
6月7日	東伊豆町	92人	森町	40人	9月1日	松崎町	32人	12月16日	富士宮市	5人	
	下田市	45人	6月12日	藤枝市	140人	9月10日	裾野市	19人	12月18日	富士宮市	20人
	西伊豆町	97人	6月14日	浜松市	78人	10月6日	下田市	50人	1月18日	熱海市	34人
	南伊豆町	92人	伊豆の国市	37人	10月15日	沼津市	29人	1月20日	富士宮市	15人	
	伊東市	53人	6月15日	富士市	80人	12月6日	静岡市	21人	1月28日	富士市	20人
熱海市	50人	6月23日	松崎町	26人				2月15日	富士市	13人	
2月16日	富士市	6人						2月17日	富士市	22人	
2月23日	富士宮市	9人						2月24日	富士市	8人	
2月25日	富士市	12人						2月29日	富士市	15人	
3月6日	下田市	40人						富士宮市	36人		
3月15日	河津町	107人						下田市	40人		

4

活用しよう!!

「土砂災害警戒情報」で「早めの避難」 ●土砂災害警戒情報を入手する!

土砂災害警戒情報は地デジ、パソコン、携帯電話等にて確認することができます。土砂災害から命を守るためには、刻々と変化する気象情報をいち早く確認し、最新の情報をもとに行動を起こすことが重要です。

パソコンで確認!!

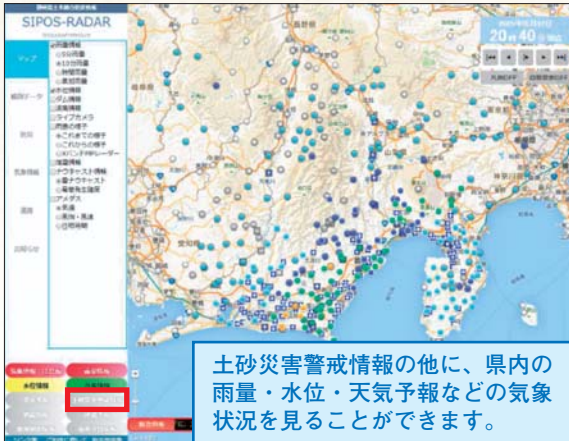
※サイポスレーダー (<http://sipos.shizuoka2.jp/>)

・土砂災害警戒情報等の発表状況を見ることができます。

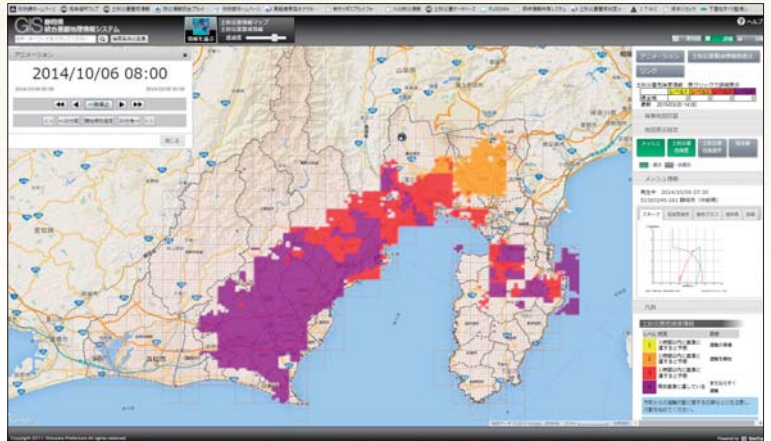
※土砂災害警戒情報補足情報システム

(<http://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1>)

・県内市町の土砂災害に対する切迫性を見ることができます。



土砂災害警戒情報の他に、県内の雨量・水位・天気予報などの気象状況を見ることができます。



携帯電話で確認!!!

※サイポスレーダースマートフォン版

(<http://sipos.pref.shizuoka.jp/smartphone/>)

※サイポスレーダー携帯版

(<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>)

・下記コードを携帯電話で読み取ってください。

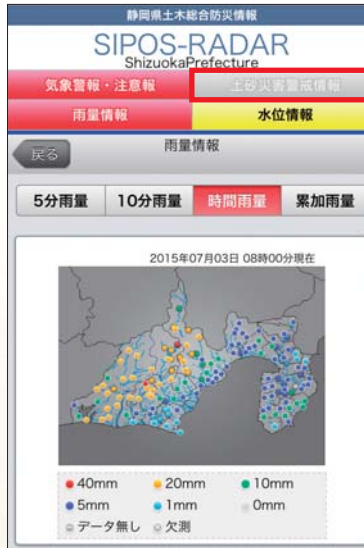


スマートフォン版



携帯電話版

スマートフォン版



・土砂災害警戒情報の発表文を見ることができます。



5 手作りハザードマップで防災力向上を図ろう!

災害が発生する前に避難することは非常に重要です。そのため、「**地域全体で避難する**」ことにより、地域全体で災害を防ぐ取り組みが非常に有効な方法といえます。

この「**地域全体で避難する**」ため、地域全体での防災力を向上させる方法には、「**手作りハザードマップ**」の作成が非常に有効な方法となります。

みなさんも、地域全体で危険な場所等を話し合い、「避難場所」や「避難路」を確認し、地域独自の「手作りハザードマップ」を作成してみてください。



H27年度 R-DIG訓練状況(藤枝市)

平成27年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成27年度に、土砂災害防止月間の取組みの一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、静岡県内では、37件の応募がありました。県内における地方審査と国の中央審査の結果、6作品が入賞しました。

3月24日に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、静岡県交通基盤部長より入賞された皆さんに表彰状が授与されました。

■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	受賞者	学校名
優秀賞(事務次官賞)	絵画	塚越 翔也さん	浜松市立可美中学校1年
静岡県知事賞	作文	小林なずなさん	掛川市立大須賀中学校1年
静岡県交通基盤部長賞	作文	青島 晴陽さん	浜松市立入野小学校4年
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	絵画	渡邊久万里さん	小山町立北郷中学校1年
	絵画	影島 初音さん	静岡市立清水有度第一小学校6年
	作文	八木 遥紀さん	静岡市立葵小学校4年

※学校・学年は応募当時のものです。



(敬称略) 受賞者と交通基盤部長、河川砂防局技監の集合写真

静岡県知事賞〈作文の部〉

「土砂災害防止に関する作文」 掛川市立大須賀中学校 1年 小林なずなさん

土砂災害。これは、いつ自分の身をおそってくるかはわかりません。土砂災害によって命を落としてしまった人もいます。土砂災害は、自然による災害なので防ぐことはできません。でも自分の身を守ることはできるはず。土砂災害がおきた時に、自分や家族を守るためにどうするべきか考えておくことが大切だと思います。もし土砂災害が起きたらどこへ逃げるかなどをきめておくことで、一つでも多くの命を守ることはできます。

私は、土砂災害を経験したことがないから、土砂災害のおそろしさはわかりません。なので防災訓練をしても多分災害は起きないから大丈夫だと思い、あまり真げんに防災訓練を行っていませんでした。そして、ニュースで土砂災害によって命を落としてしまった人がいるというのを耳にしました。その時は、その人がかわいそうだとしか思いませんでした。かわいそうとは思ったけど、そのニュースを他人事として受け入れていました。でも、おじいちゃんが、家の近くの山でいつこうなるかわからないから危ないねといいました。今まで土砂災害は私には関係のないことだと思っていたけど、おじいちゃんの言葉で土砂災害は自分の身にも起こるかもしれないとても怖いものだと思います。でも、自然によるものだしどうすることもできないとその時は思っていました。ですが、防災訓練などをして、土砂災害の怖さを知り、対策することによって自分の身を守ることはできるということに気がつきました。なので私は、土砂災害がおきた時にどうするかや、逃げる場所を決めました。

土砂災害は、いつおそってくるのかわかりません。経験をしたことがない人のほうが多いと思います。だからみんな自分には関係ないと思ってしまいがちなのです。そうするともし土砂災害におそ

われた時に命をおとしてしまう可能性が高くなってしまいます。今までに土砂災害で命を落としてしまった人も、まさか自分がこんな目にあうなんて思っていなかったと思います。でもそのように他人事として受け入れていると自分の身を守ることができません。土砂災害は、いつだれに起こってもおかしくはありません。だから、しっかり対策しておくことが大切です。

防災訓練をしていても、本当に災害が起きたら、訓練のとおりには動けないから意味がないと思う人もいます。私もそう思っていました。確かに実際災害が起きたら、防災訓練でしたことなんてできないだろうしその通りに動けないと思います。でも、どうすればいいかわからなくなった時に冷静になって防災訓練でしたことを思い出して動いてみれば助かるのではないかなと思います。防災訓練でやったこと全てはできなくても、困った時に生かせるようにするために、防災訓練に真げんに取り組み、他人事ではなく、いつか自分の身にも起こるかもしれないこととして考えることが大切だと思います。まずは自分の安全を考え、その次に周りの人の安全を考え、みんなで助け合い土砂災害による被害者を少なくできればいいなと思います。

自然による災害で命を落としてしまうのは突然のことだから、周りの人もすごく辛くて悲しいと思います。だからそのような思いをする人をへらすためにも、日々の心がけや、助け合うことが大切だと思います。

土砂災害は自然災害だから、なくすことはできません。でも対策をしておくことで、救えるはずの命を失うことや、それによって悲しむ人をなくすことはできるのではないかなと思いました。

事務次官賞〈絵画の部〉

浜松市立可美中学校 1年 塚越 翔也 さん



優秀賞(事務次官賞)の塚越翔也さんの表彰風景



静岡県交通基盤部長賞〈作文の部〉

「自分で守る命」 浜松市立入野小学校 4年 青島 晴陽 さん

ぼくは毎年、しずおかにいる友達の家族と山中湖にキャンプに行きます。いつも天気が心配なのですが、今年のキャンプも天気予報では台風が近づいてきていました。キャンプ当日は、雨はふっていませんでしたので山中湖へ向かいました。おじいちゃんに、「山道は土砂くずれがあるから気をつけて。」と言われ家を出ました。夜から雨がふり出し、朝になるにつれどんどんひどくなっていきました。でもぼく達にはもう一つ楽しみにしていることがありました。それは、キャンプの帰りいつもよる身のお駅近くのみのおまんじゅうを買いに行くことです。でもそこに行くには遠回りをして、山道を通らなくてははいけません。朝、お父さん達が、「道が心配だから今回はやめようか。」と話していました。でもぼくは、友達と一緒に、「どうしても行きたい。」と言いました。お父さん達はなやんでいたけど、ぼく達のたのみと台風が一番近づくのは次の日の予報だったのもあって気をつけて行ってみようという話しになりました。と中雨がひどくなり道の駅で休けいしたりしながらゆっくり向かいました。通行止めになっていたらどうしようと心配にもなったけど無事に目的地に着くことができました。でも、前に土砂くずれになって直っていない道、かん板が出ている所やかた側通行になっている所石が落ちてくるかもしれないと知らせるかん板や、小さな石が転がっている道もありました。雨だけじゃなくきりも出ていて、車のライトをハイビームにしても前が見えなかったり、こわい思いもしました。

家に帰ってからおじいちゃんに、「あそこの道は土砂くずれがよくあって、あぶない道なんだぞ。無事に帰ってくれてよかったな。」と言われました。

ぼくはお母さんに、土砂くずれがあるときけんになった場所をすぐに見に行って調べる仕事をしている人がいるということを知りました。本当だったらあぶないから近づきたくない場所なはずなのに、一早くかけつけて点検したり指示を出したりする仕事だそう

です。

ぼくは、キャンプ場での朝、「道は大じょう夫だよ。」と言いました。自分にき険なことが起こるかもしれないと相ぞうしたことがなかったからです。大じょう夫だと思っていたし、家族や友達がき険な目にあうとは思っていませんでした。でも少し前にぼくの町でかん水がありました。雨がたくさんふって、道が海のように水でいっぱいになり全国ニュースでテレビにうつりました。ぼくの家は大じょう夫だったけど友達の家は学校に来れないほど家の前の道に水が深くて欠席した友達もいました。次の日、近くの山がくずれてブルーシートでおおってある所も見かけました。

今まで何も心配していませんでしたが、もしかしたら自分達もひがいにあってたかもしれないと思つたらとてもこわくなりました。そんなときキャンプのことを思い出して、もし土砂さいがいにあって車がうまってしまっていたらどうだったかなと思つました。もしけがをすれば救きゅう車、うまってしまったらレスキューの人や消防士、けいさつ官、車が動けなくなればレッカーシャに乗って来る人などたくさんの人にめいわくがかかるし、助けてもらわなければいけません。それに家族に心配もかけます。ぼくたちの住んでいる町中大きな地しんが来るとも言われています。もし地しん起きれば色いろな所で土砂さいがいが起きるかもしれません。注意することも必要だけど自分達は大じょう夫という気持が一番きけんゆだんしないであぶないと思つたことは最初からしてはいけなと思います。それにき険な所には行かない、近づかないようにして、自分の命は自分で守るということを頭に入れてしっかり考えて行動できる人になりたいです。

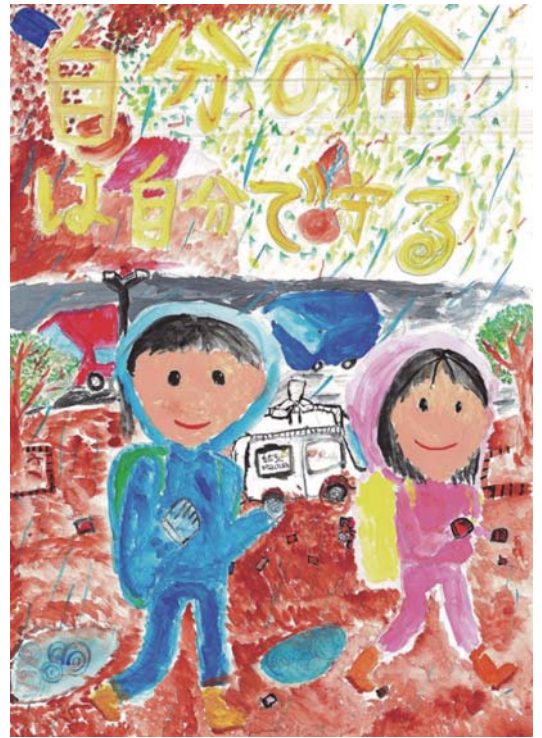
家族と土砂さいがいの話をたくさんしました。土砂くずれしやすい山や場所、知らないことがたくさんあると思うので、これから少しずつ調べていきたいです。

「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰

全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈絵画の部〉

静岡市立清水有度第一小学校 6年 影島初音 さん ▶

▼ 小山町立北郷中学校 1年 渡邊久万里 さん



全国治水砂防協会静岡県支部長賞〈作文の部〉

「土砂災害から命を守るためには」 静岡市立葵小学校 4年 八木 遥紀 さん

土砂災害という言葉テレビで聞いたことがあります。でも、なんで土と砂の災害なのかな?とぼくはわかりませんでした。

6月の休みの日にお父さんとお兄ちゃんと一緒に青葉公園でやっていた「みんなで防ごう土砂災害」のイベントに行きました。そこで、山がくずれて木が倒れている写真や土で家がこわされている写真をたくさん見ました。とても怖かったです。ぼくが写真を見ていたら、お兄さんが優しく「たくさん雨がふると山の土の中に水がたくさんたまり、その土と水と一緒に川のように流れてくると山の木や大きな石と一緒に流れてくるから、山がくずれたり、たくさん家がこわされたりするんだよ。」と教えてくれました。それと、川にダムがある場合とダムが無い場合のもけいで石ころをいっせいに流すとどうなるかという実験も見せてもらいました。川にダムがないと下にある町の家がこわされてしまいました。土砂災害という言葉とそれを防ぐには土砂を止めるダムが必要であることがわかりました。

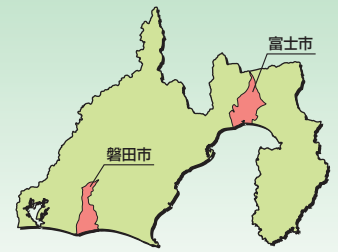
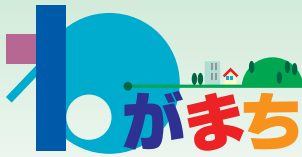
家に帰ってから、お父さんにぼくの住んでいる家は大丈夫?って聞いたら、パソコンでハザードマップという地図に、山から土砂がくずれてあぶない場所に印がつけられていました。でも、ぼくの家の近くには「丸山町」と「宮ヶ崎町-イ」というがけくずれがおこりやすい場所があることもわかりました。ぼくの家は、その二つの所からはなれていて色がぬられていなかったのが、安心しました。お父さんが、ハザードマップはあくまでもめやすだから、もっとひどくくずれば家にくるかもしれないと教えてくれました。

ぼくの住んでいる静岡市は、南海トラフの地しんが起きるかもし

れないといわれています。地しんがおきたら怖いないつも思っていました。大雨で土砂災害が起きることも知ったので、もっと怖くなりました。地しんと大雨と一緒にきたらどうなるんだろうと思ってお父さんに聞きました。雨がたくさんふって土の中に水がたくさんたまっている所に地しんが起きるとくずれやすくなるんだよと教えてくれました。だからぼくは、雨がたくさんふったあとには、近くの山にはいかにようにします。なぜならば、その時に地しんが起きたら土砂災害でうもれてしまうからです。

9月に台風が静岡県にきました。ぼくは、雨の音と風の音で怖くて眠れませんでした。学校も午前中だけお休みなって、夜あまり眠れなかったので、朝はとても眠かったです。朝は天気よくなってとても明るかったので安心しました。ぼくは、夜に土砂災害が起きたら怖いなと思いました。ぼくの家は、大きな雨がふったり、大きな地しんがあるとすぐにテレビをつけます。テレビでは台風の様子や地しんの様子がよくわかります。テレビを見ているととても怖いけど、家族のみんなで見てると安心します。テレビで、早くひなんしてくださいといっていたけど、土砂災害から命を守るためには、早く安全な場所にいくことが大切だと思えました。

今回、土砂災害のことをたくさん勉強したので、学校の友達やおじいちゃんやおばあちゃんにも「雨がたくさんふったら、山の近くに行かないこと!、雨の中外にでないこと!」を教えてあげたいです。



富士市

河川課

富士市は、静岡県東部に位置し、世界に誇る富士山の自然に抱かれ、豊かな緑と湧水の恵みによって発展してきました。当市の代表的な産業である製紙業は、この恵まれた自然環境と地理的条件を生かし、発展を遂げており、年間製造品出荷額等では、県内上位に位置する工業都市です。

富士山のふもとにある本市は、他市と比べて起伏の少ない地形ですが、それでも231箇所の土砂災害危険箇所があります。

さらに、当市の西部には日本三大急流のひとつである富士川があります。富士川は、江戸時代初期までは氾濫を繰り返し、市民の生活を苦しめてきました。そのため先人たちは50余年の歳月と莫大な経費、そして治水の工夫を結集して雁堤(かりがねつつみ)を築造し、それ以後富士川の氾濫から大切な土地を守ってきました。雁堤の名称は、堤の形状が雁が連なって飛ぶ形に似ていることからついたものであり、その規模は岩本山山裾から松岡水神社に至る全長2.7kmです。



富士山とかりがね堤



夜景

昭和41年、旧富士市・旧吉原市・旧鷹岡町の合併により誕生した富士市は、旧富士川町との合併(平成20年)を経て、今年(令和3年)の11月1日に、市制施行50周年を迎えます。

今年(令和3年)は、当市の特性を生かした産業観光の新たな資源と期待される「工場夜景」についての「全国工場夜景サミットin富士」、ものづくり産業を支えてきた企業や、革新的な取組に挑戦している活力あふれる企業を市内外に広く発信するための『(仮称)富士市の元気「ものづくり力」フェア』、まちおこしイベントとしての「東海・北陸B-1グランプリ」などを開催し、次の50年を担う若い世代が、未来に思いをはせ、夢や希望を感じられる富士市にするための取り組みを行っていきます。

磐田市

建設部道路河川課 主任 山内克浩

磐田市は、県西部の天竜川東岸に広がる地域であり、温暖な気候、そして海や山、肥沃な大地と豊かな自然に恵まれたまちです。

奈良時代には、遠江国分寺と遠江国府が置かれ、古墳時代の900基以上の古墳が現存し、江戸時代には、東海道五十三次見付宿として繁栄するなど、東西交通の要所として発展してきました。

現在では、地場産業である繊維産業に加え、金属、自動車、楽器などの工業都市として、また、農業産出額も県内屈指で農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名です。

観光地としては、サッカーやラグビーのトップリーグで活躍する2つのジュビロのホームスタジアムであるヤマハスタジアムや、国指定天然記念物の熊野の長藤で有名な行興寺、明治8年に建てられた現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎の旧見付学校、四季折々の美しい自然と触れ合うことのできる獅子ヶ鼻トレッキングコースなど魅力的な観光地が数多くあります。

皆さん、ぜひ磐田にお越しください。



ラグビー・ジュビロのメンバー(ヤマハスタジアムにて)



「熊野の長藤」で有名な行興寺

静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会が開催される

1月19日(火)に、静岡県砂防ボランティア協会の総会及び研修会を、クーポール会館(静岡市)で開催しました。

総会で、大内グリーンベルト作業会をはじめとした平成27年度の活動報告、平成28年度の活動予定、全国連絡協議会及び砂防ボランティア全国のつどい(山形県山形市)の状況報告、役員改選、新規会員紹介を行った後、八木砂防課長による「静岡県の砂防を取り巻く状況」と題した研修を行いました。



総会の様子

第4回門島地すべり対策検討委員会が開催される

1月22日(金)に、第4回門島地すべり対策検討委員会を、県浜松総合庁舎で開催しました。

平成25年4月に大規模な斜面崩壊が発生した「門島地すべり(浜松市天竜区春野町)」は、災害発生後に調査や対策工事を進め、平成27年3月末に緊急地すべり対策工事が完成し、現在地すべりブロックより下部の斜面对策工事を実施しています。

緊急地すべり対策工事の完成後の監視・観測結果を踏まえて、地すべりの安定状況を評価するため、土屋静岡大学教授(日本地すべり学会会長)、国立研究開発法人土木研究所の石井首席研究員や関係機関等で構成する当委員会に報告し、今後の対応を審議しました。

審議の結果、「地すべりの再動につながるような変状は確認されないため、対策工の効果は十分発揮されている」と判断され、「今後の監視・観測体制の変更」と「当委員会の終了」を決定しました。

県は、引き続き、残る対策工事を着実に進めるとともに地盤の挙動を観測する主な6箇所の監視を行い、有事の際には緊密に関係機関と連絡がとれるようにしていきます。



検討委員会において、県からの報告



現在の斜面状況(H27.12.28撮影)

梅ヶ島災害50年実行委員会が設置される

昭和41年9月25日台風26号の影響により、土石流が発生し、旅館など11軒の家が壊され、26名の方が犠牲となった梅ヶ島災害から、本年9月で50年を迎えることから、1月25日(月)に国土交通省静岡河川事務所、林野庁静岡森林管理署、静岡県、静岡市、梅ヶ島学区自治連合会、(一社)静岡建設業協会などの関係機関で組織する「梅ヶ島災害50年実行委員会」が設置されました。

6月17日(金)には防災講演会を開催し、梅ヶ島災害の実態を再認識するとともに、教訓として後世に継承するため、地元住民らの体験談や児童生徒の学習発表のほか静岡大学農学部准教授の今泉文寿氏による基調講演を行う予定です。

渓流点検技術研修会が開催される

1月27日(水)に、土砂災害発生時における渓流点検技術研修会が、グランシップ(静岡市)で開催されました。

この研修会は、土砂災害発生時の渓流点検について、実際に土砂災害が発生したときに各関係機関がそれぞれ迅速な対応がとれるよう、国土交通省 沼津河川国道事務所、静岡河川事務所、富士砂防事務所の主催で行われたものです。

研修では、TEC-FORCEとして緊急点検を行った方の経験談や、過去の大規模土砂災害の事例をもとにした渓流点検の実施方法についての説明がされました。

第56回砂防および地すべり防止講習会が開催される

2月18日(木)・19日(金)に、「第56回砂防および地すべり防止講習会」が砂防会館別館(東京都)で開催されました。

講習会に先立ち行われた赤木各賞の授与式では、赤木顕功賞として大池悦公氏(元静岡県土木部河川砂防総室砂防統括監)が受賞されました。

講習会では、(一財)民間都市開発推進機構の栗島常務理事の特別講演「『治水・砂防法制の確立過程について』-砂防法制定の経緯及び意義-」をはじめ、西山砂防部長の「これからの土砂災害対策」など、幅広い分野の講演があり、今後の砂防事業の展開に関する話題提供がありました。中でも、石井上席研究員の「地すべり災害の最前線-緊急対応の実際と課題-」では、浜松市天竜区春野町杉で平成25年度に発生した門島地すべりが題材とされ、緊急対応時の実態と課題について、紹介されました。



講習会の様子

第4回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議が開催される

2月22日(月)に、酒匂川・鮎沢川水系の河川、森林、砂防、ダム、堰、海岸等の管理者及び関係地方公共団体等による「第4回酒匂川・鮎沢川総合土砂管理推進連絡会議」が神奈川県小田原合同庁舎で開催されました。

この会議は、神奈川県が平成24年度に策定した「酒匂川総合土砂管理プラン」を受けて、治水・利水安全度を向上させながら、生態系に配慮した酒匂川水系の土砂環境の改善を目指すことを目的として平成25年度に立ち上げ、上流域の静岡県も参加しているものです。今回の会議では、今年度の流域内の土砂環境や各事業機関の対応についての報告がありました。

第6回富士山火山防災対策協議会が開催される

3月24日(木)に火山専門家、国、静岡・山梨・神奈川県、市町村等の90を超える関係機関による「富士山火山防災対策協議会」が山梨県庁防災新館で開催されました。

昨年の活火山法の改正を受けて、本協議会を法定協議会に改組し、会長の変更、規約の改正や構成員の変更等の提案があり了承され、会長には山梨県知事、静岡県知事が1年ごとに交代で行うこととなりました。

また、平成27年度の協議会の事業報告、平成28年度の事業計画(案)、「富士山広域避難計画」の改正について説明があり、了承されました。



協議会の様子

募集・お知らせコーナー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小・中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

- 【募集対象】 小・中学生 【応募期間】 6月1日(水)～9月15日(木)
 【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記して下さい。
 【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県交通基盤部砂防課 砂防班
 TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564



詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>

第9回 親子で大谷崩れの森づくり

日本三大崩れの一つでもある大谷崩れ。今から300年程前の宝永地震によって崩壊したと言われています。本来の自然を取戻すべく今もなお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩れにみなさんの手で植樹し、植樹を通じて自然・山・水に触れて「いのちの大切さ」を学ぶことの出来る体験への参加をお待ちしております。

- 【募集人員】 60名 【日時】 平成28年7月3日(日) 9:00～16:00(小雨決行)
 【参加費】 無料(昼食は各自用意してください) 【集合】 静岡駅北口 8:45
 【問合せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL(054)246-7767

土木事務所企画班砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座および講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下田土木	TEL:(0558)24-2113 FAX:(0558)24-2123	村井達郎 山田紘子
熱海土木	TEL:(0557)82-9172 FAX:(0557)82-9110	北川裕人 古地祐規
沼津土木	TEL:(055)920-2212 FAX:(055)922-6684	清 憲三 梶原大督
富士土木	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	本橋央行

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静岡土木	TEL:(054)286-9322 FAX:(054)286-9375	山下高詳 山本庸介
島田土木	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	内田賢吾
袋井土木	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	水野良幸
浜松土木	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	清水康弘



【表紙写真】

桃の節句 〈撮影地:富士宮市郊外〉
 塩川 説子さん(静岡県富士宮市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編集後記

平成28年度がスタートしました。

昨年は土砂災害発生件数が平年に比べ少ない年でしたが、平成27年9月の台風18号による大雨では北関東を中心に土砂災害が多発するなど甚大な被害が発生し、災害への備えの大切さを再認しました。

今年度も土砂災害防止に対する意識向上をしていただけるような誌面作りに取り組んでまいりたいと思いますので、砂防だよりのご愛読をよろしく願っています。

砂防だよりは砂防課ウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>